

第 2 2 章

災害及び事故

第 2 2 章

災害及び事故

水稲被害

平成 23 年における府内の水稲被害の概況は、被害面積 7720ha、被害量 1890t、被害率 6.7%で、前年に比べ被害面積は 1 万 4980ha (66.0%) の減少となり、被害量は 34.8%の減少となっている。

労働災害

平成 23 年における府内の労働災害による死傷者数は、死者が 58 人、負傷者(休業 4 日以上)と合わせて 8350 人で、前年より 109 人の減少となっている。

産業別にみると、製造業での死傷者が 2132 人で全体の 25.5%を占め最も多く、以下、陸上貨物運送業が 1194 人(構成比 14.3%)、商業が 1137 人(同 13.6%)の順となっている。最も多い製造業の中では、鉄鋼・金属製品製造業が 727 人と大きな割合を占めている。

火災

平成 23 年における府内の火災件数は、前年より 101 件減少し 2980 件(前年比 3.3%減)、死傷者は 64 人減少し 631 人(同 9.2%減)となっており、損害額は 4 億 4999 万円減少の 33 億 3365 万円(同 11.9%減)となっている。

月別では、12 月が 325 件(構成比 10.9%)が最も多く、次いで 1 月が 318 件(同 10.7%)の順になっている。

地域別では、大阪市地域が 1133 件(構成比 38.0%)で最も多く、次いで、北河内地域 397 件(同 13.3%)と泉北地域 379 件(同 12.7%)となっている。

発火源別にみると、「たばこ・マッチ」が前年と比べ 89 件減少し 1117 件(前年比 7.4%減)で最も多く全体の 37.5%を占め、次いで、「都市・プロパンガス関係」が 10 件減少し 411 件(前年比 2.4%減、構成比 13.8%)となっている。

また、平成 22 年度末現在の府内の防火対象物数は、前年より 242 棟増加し 25 万 1046 棟(前年比 0.1%増)となっている。

交通事故

平成 23 年における府内の交通事故発生件数は、4 万 9644 件(前年比 3.2%減)、死者 197 人(同 2.0%減)、負傷者 5 万 9489 人(同 3.2%減)となっている。

事故発生の主原因者となった第一当事者別では、車両関係 4 万 8421 件、歩行者 19 件、不明 1204 件となっている。

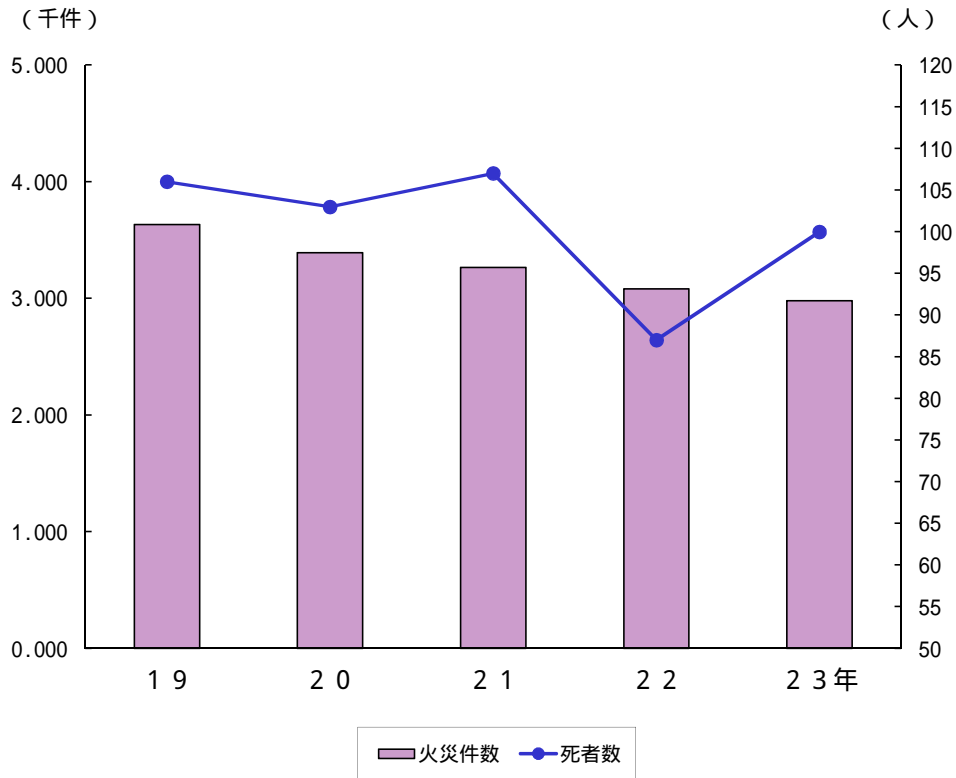
このうち車両関係を車種別にみると、普通乗用車が 2 万 3956 件と 49.5%を占め最も多く、以下、軽乗用車が 8077 件(構成比 16.7%)、軽貨物自動車が 4482 件(同 9.3%)、普通貨物自動車が 3824 件(同 7.9%)、原付が(50cc 以下) 2686 件(同 5.5%)の順となっている。

また、法令違反別にみると、安全不確認が 2 万 5124 件(構成比 50.6%)、前方不注意が 7415 件(同 14.9%)、動静不注視が 6383 件(同 12.9%)の順となっている。

一方、歩行者関係の事故件数は、第一当事者及び第二当事者合わせて 4169 件で、死者が 59 人、負傷者が 4225 人となっており、横断中の事故が 2375 件と全体の 57.0%を占めている。

なお、全国の交通事故発生件数は、69 万 1937 件(前年比 4.7%減)でこれを都道府県別にみると、東京都の 5 万 1447 件(構成比 7.4%)が最も多く、以下、愛知県の 4 万 9998 件(同 7.2%)、大阪府の 4 万 9644 件(同 7.2%)の順となっている。

火災件数と死者数の推移



交通事故件数と死者数の推移

